

■研究課題

「主体的・協働的に学び、ふるさとへの誇りと愛着をもった

人間性豊かな子どもの育成」

～児童生徒一人一人が仲間とつながり、

地域とともに「生きる力」を伸ばす学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

■研究内容（別紙参照）

分野別目標と課題

I 学校・学級経営の深化・充実

目 標 学校と地域・社会が一体となり「豊かな人間性を育む」学校・学級経営の創造
課 題

- 1 確かな経営理念の確立と、家庭や地域と連携した確かな学びを創る特色ある教育課程の創造と推進
- 2 ふるさとで学び、新しい時代を拓く、開かれた学校・学級経営の創造と推進
- 3 地域に根差し、家庭や地域と連携して豊かな心を育む教育活動の創造と推進

II 学習指導の深化充実

目 標 主体的・協働的な学び合いにより「共に高め合う」学習指導の創造
課 題

- 4 個性の伸長を重視した指導計画・実践・評価の改善と充実
- 5 学ぶ意欲を高める指導方法の改善と充実
- 6 主体性を育てる学習指導過程の改善と充実

■研究方法

- ①各学校の研究責任者は、校内研究と石教研へき地・複式教育部会の研究計画を可能な限り関連づけ、校内研究において石教研へき地・複式教育部会としての研究・実践に努める。具体的には、上記研究内容の研究・実践に努める。
- ②各市町村研究推進委員は、各学校の主体的な研究を大切にしながら、各市町村の研究を道へき複連第10次長期5か年研究推進計画の2年次として位置付け、石教研へき地・複式教育部会としての研究・実践に努める。具体的には、上記研究内容の研究・実践に努める。
- ③管内の研究実践の推進
ア 北・南ブロック（北：浜益小 南：支笏湖小）に分かれ、各会場校で部会の研究内容に沿った研究授業を9月1日（火）までに行う。授業実践について部会員の学校に報
告し、各学校で協議し次年度につなげる。
イ 管内へき地・複式教育研究紀要『へき地・複式教育』第53号を3月に発行し、共同研究の成果を集約する。
- ④「教育課程」は、実践上の課題を明らかにし、改善・充実を図る。

今年度の課題部会研究協議会の活動について

① 研究授業会場 北・南ブロック（北：浜益小 南：支笏湖小）

② 研究授業会場校の取組と各校へのデータ送付

・公開授業を行うとともに、（研究発表）「研究の概要」「公開授業のポイント」をA4・1枚の資料を作成

③ 各校で意見交流

- ・各校では、時間を設けて研究授業の資料をもとに意見交流を行う。
- ・意見や質問があれば、9月16日（水）までに事務局鬼塚まで。（FAX、電話、メール）

④ 研究のまとめと蓄積

- ・今年度の研究として蓄積しておき、来年度あらたにテーマにそった研究協議会を開催し、実施していく。
- ・研究紀要「石狩の教育」第66集の作成

全道大会について

- ・第69回全道へき地複式教育研究大会檜山大会は、例年の参集型の研究大会は行わず、形式を変え「紙面発表大会」として行う。
- ・第69回全道へき地複式教育研究大会オホーツクプレ大会は、例年行っている分科会（公開授業の全道の会員への一般公開）は行わない。